



日本共産党
北茨城市委員会
電話0294-1030

毎週日曜日発行
インターネットでも
ご覧いただけます

http://www.jcp-ktib.com/

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

市民の暮らしをまもる予算を 反対討論

予算案に 反対討論

3月市議会最終日、市予算案に対して福田明市議が反対討論に立ちました。その大要を紹介します。

高齢者負担増の追いつき

まず議案15号、16号は平成18年度一般会計ならびに

国保の補正予算で、いずれも来年4月から県単位で始まる後期高齢者医療制度の導入に向けた具体化です。この制度は、75歳以上の人を現在の国保や社会保険から切り離して創設されるものです。これまで健康保険の被扶養者になっていた

個人で参加できる組織として活動しているのが「北茨城平和の会」です。そのメンバーの人たちが、大津港・磯原・南中郷の3つの駅頭でチラシ配布に取り組みま

増税分は暮らして

人を含めて、保険料を年金から天引きするという制度で、高齢者の命を守るどころか、冷たい政治に追い討ちをかけるような医療制度です。このような制度導入に向けた議案第15号、16号に反対するものです。

次に議案第25号、平成19

した。自民・公明が強行しようとしている国民投票法のねらいは憲法九条を変えて戦争をする国にすることだと訴え、協力共同を呼びかけました。

私たちは戦争する国はいやです



大津港(3月27日)



磯原(3月28日)



南中郷(3月29日)

年度一般会計予算についてです。予算額は約143億で前年比1.3%減と前年度並みですが、歳入のほうで市税が13.7%増と大幅に増加した点特徴です。これは、国からの地方への税源移譲と、定率減税の廃止という増税の結果です。とくに定率減税の廃止は、市民の収入が減っているもとの増税であり、固定資産税や都市計画税の増税と相まって、いつそう暮らしを圧迫することは明らかです。

請願・陳情の審議結果

「ミニシティセンター」 建設費地元負担金軽減措置に関する請願

地元よりいつそうの努力を求めるとして、継続審査となりました。

日豪EPA交渉に関する陳情

日本とオーストラリアとで農畜産物を含む貿易協定

億円、しかも予算の大半は起債に頼ることになります。

そうしたなか18年度の市立病院の決算は、6億円からの赤字額が見込まれています。市民からは「このまま建設して市の財政が破綻しないのか」という率直な声も出されています。

土地の測量委託料については、19年度の病院の経営と財政状況を一定期間、たとえば半年とかの経過を見た段階で、9月議会に補正予算として計上しても決して遅くないと考えます。病院建設を確実に遂行させる立場からも、そうした慎重さが重要です。

以上の諸点から平成19年度北茨城市一般会計予算に反対するものです。

の交渉開始に向け、断固たる姿勢で日本の農畜産物を守れ、との農協からの陳情は採択されました。

医師・看護師不足を解消し安全でゆきとどいた医療の実現を求める請願
医師・看護師不足を解消を望むことに異論はないが、そのための具体的手だてについての方策についてより審議が必要と、継続審査となりました。

新議長に志賀秀之氏

3月議会最終日には、市議会議長選挙がおこなわれました。新議長には志賀秀之氏、副議長には村田仁人氏がそれぞれ決まりました。

議長選挙結果

- ・ 志賀秀之氏 16票
- ・ 村田洋文氏 8票
- 副議長選挙結果
- ・ 村田仁人氏 13票
- ・ 前田利勝氏 11票

また、常任委員会の所属変更があり、それぞれ正・副委員長が選出されました。日本共産党議員団の所属はこれまでと同じで、福田明議員は建設委員会、鈴木やす子議員は産業委員会です。

新病院は慎重に

また新市民病院建設に関連して、建設予定地の測量委託料と不動産鑑定委託料が計上されています。この病院建設にかかるのは約60